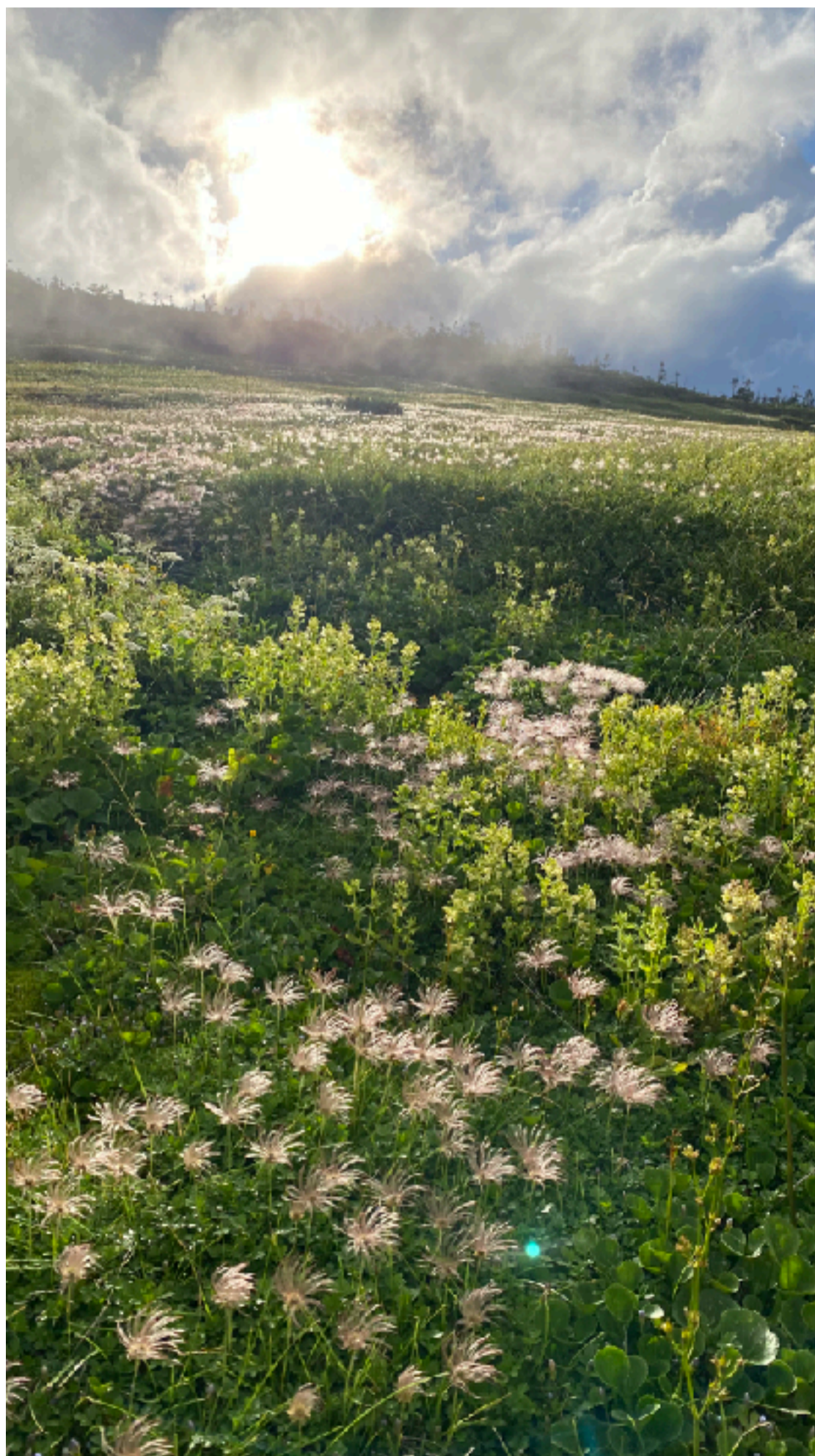


2022年8月11日～15日

蓮華温泉から白馬岳



白馬大池 チングルマの綿毛



蓮華温泉から白馬大池

1日目 京都を出発し蓮華温泉へ！蓮華温泉まではようやく通じた福井までの国道を通り今庄から北陸道を糸魚川まで。そこからは蓮華温泉の林道へ。昼食を済ませ、装備の確認後、

午後1時30分に大池目指して出発。この日はやまやメンバーお一人様と白馬大池でテント泊とあって装備は最高に重い！まあ、いらぬもの（ビールやワインなど）をたくさん持ってきているのであってそれは仕方ないことだけど・・・^^;

大池までは、標高差約900mもあり夏場の午後からの出発はかなりしんどい。急登を大汗かきながら白馬大池へ。水がいくらあっても足りないくらい暑いに登るうちに気温が下がってくる。右側には小蓮華岳から雪倉、朝日岳の眺望が広がってくる。約4時間かけて白馬大池へ。白馬大池のテント場は満員御礼の状態、一番遅く入った私達はなんとか空いているスペースに潜り込ませてもらいました。この頃天気が非常に不安定で、天気図を見ながら明日の予定を決める。白馬大池は電波が入らず、天気図をひらえないために、次の日の予定は2日目に決めることに。とりあえずは予定通り、白馬方面を目指す。当初、朝日岳までも計画していたが、白馬大池からは距離が長く、その次の日の天気やお客様の体力を考え、そのように判断しました。

大池ではチングルマの花と綿毛、トモエシオガマ、ツガザクラなどの高山植物が一面に咲いている。とってもきれいな景色に疲れが吹き飛ぶ。



月光に輝く白馬大池



白馬大池から出発します！

白馬大池から白馬岳へ！往復

2日目 午前3時おき、4時出発であわよくば朝日まで・・・とも思っていたが、台風が近づいていることもあり風が非常に強い。白馬往復でも軽く6時間はかかるが、悪天を予想して早

めに出発。テントとシュラフなどの装備を大池にデポし、白馬岳に向かう。雷鳥坂を登り、小蓮華岳へ！お盆前のこの季節はさすがに登山者でいっぱい・・・ただ、北アルプスの中では初心者用のコースとあり、マナーなどを守らない登山者の姿が目立った。特に旅行会社のツアーと呼ばれる団体さんは酷い！やはり登山は連れて行ってもらう・・・という意識ではなく、自分で登る！という意識でなければ、いつまで経っても成長しない。みんな、登山客から登山者になろう！



小蓮華岳までの道 後立山連峰が見えています。

船越の頭から小蓮華岳では、後立山の稜線がくっきり見えている。一番奥には鹿島槍ヶ岳、五竜、唐松、そして白馬三山がくっきり。来てよかった～！と思える瞬間。小蓮華岳で大休止を取り、このあたりまでくると、電波が入るようになる。ヤマテンで天気を確認し、次の日の午後から天気が崩れることを確認する。

小蓮華岳からの稜線はいったん下りが続き、再び少し上がったところに三国境がある。昔ここでうよくヒメネズミやオコジョを見かけ遊んだものだ。確認するもその姿はなかった。さあ、これからが白馬岳の登りのハイライト！岩混じりの急登を登り、頂上へ！

登れるかどうか・・・と不安がっていたお客さんも一安心である。ちょうどその頃にキリがかかり、目の前真っ白に。。ちょうど営業を始めた白馬山荘前でゆっくり昼食をとり、来た道を往復。白馬山荘から大池は下り主体の稜線歩き。気分はルンルンで、午後3時ころにゆっくり大池に戻りました。大池では、ビールで乾杯したことは言うまでもありません。



後立山連峰北部の稜線 雪倉、朝日から日本海まで続く道です。



白馬岳でイエ～～イ！！変なおじさん付きです。



白馬から帰ってからは大池でゆっくりです



3日目の白馬大池 この日も午前中は晴れています

白馬大池から蓮華温泉～乗鞍高原

3日目 午前中は天気の良いこともあり朝7時まで白馬大池でゆったり。写真や山ほど撮りながら、蓮華温泉までの道をもどります。今回の山行で、北アルプスのテント泊での体験ができました。今回は大池でのベースキャンプでしたが、これが縦走になると、もう一つレベル

が上がる山行となります。自分が持てる重量を知り、自分の歩ける距離を知ることが安全登山の第一歩。そういう意味では非常に有意義な実のある山行でした。



小蓮華岳



白馬乗鞍とお花畑

下山後、蓮華温泉に入り、すっきりして帰路につきました。・・・が白馬を通りやはしその暑さに参り、再び乗鞍の山に籠もっていました。白馬で最高気温13度、乗鞍で19度でした。

ここは天上の楽園です



左から雪倉、赤男、朝日岳



乗鞍高原から乗鞍岳



乗鞍の虹



あざみ池